

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 25 年 3 月

小 松 商 工 会 議 所

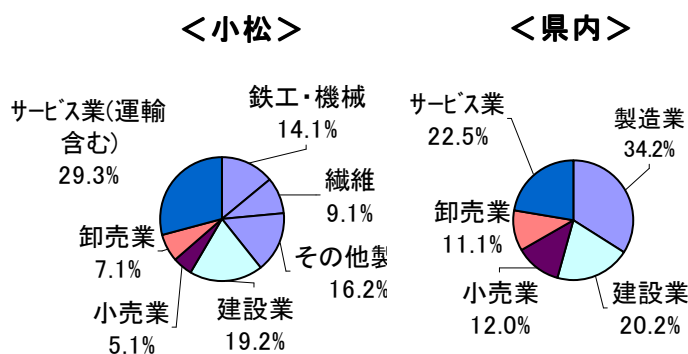
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 227社

回収率 99企業（回収率 43.6%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	14	188
繊維	9	
その他製造	16	
建設業	19	111
小売業	5	66
卸売業	7	61
サービス業(運輸含む)	29	124
合計	99	550



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 …… D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 平成 24 年度第 3 四半期(平成 24 年 10 月～12 月)

今 期 …… 平成 24 年度第 4 四半期(平成 25 年 1 月～3 月、但し 3 月は見込み)

来 期 …… 平成 25 年度第 1 四半期(平成 25 年 4 月～6 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	4	2	1	4	4	0	4	8	0	0	1	0	1	2
不 変	5	6	4	4	5	10	10	8	3	3	4	6	17	15
悪 化	5	6	4	0	7	5	5	3	2	2	2	1	11	12
無回答				1		1								
総 計	14		9		16		19		5		7		29	

(1)-2 DI値

(単位:DI)

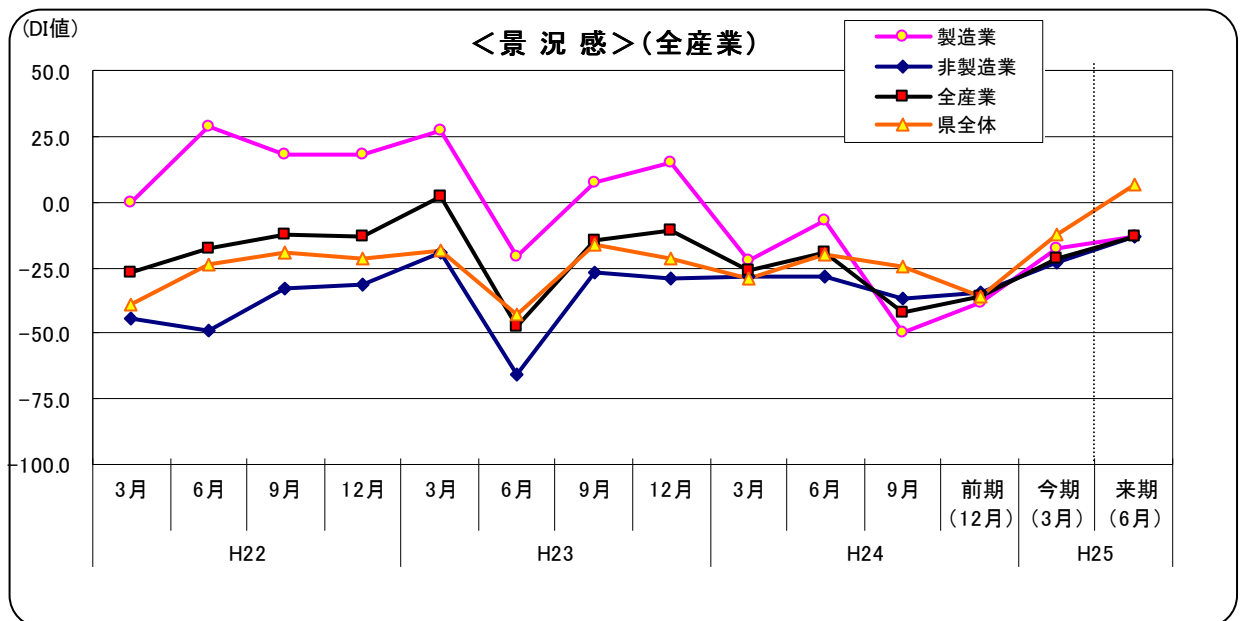
		前期		今期		来期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	鉄工・機械	▲ 82.4	—	▲ 7.1	—	▲ 28.6	—
	繊維	▲ 16.7	—	▲ 33.3	—	50.0	—
	その他製造	0.0	—	▲ 18.8	—	▲ 33.3	—
	製造計	▲ 38.1	▲ 39.6	▲ 17.9	▲ 17.1	▲ 13.5	10.9
非製造業	建設業	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 5.3	2.7	26.3	17.6
	小売業	▲ 44.4	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 10.8	▲ 40.0	▲ 14.1
	卸売業	▲ 62.5	▲ 33.9	▲ 14.3	▲ 19.7	▲ 14.3	11.5
	サービス業(運輸含む)	▲ 28.6	▲ 36.4	▲ 34.5	▲ 15.3	▲ 34.5	▲ 1.6
	非製造計	▲ 34.5	▲ 33.7	▲ 23.3	▲ 9.7	▲ 13.3	4.2
全 体		▲ 36.0	▲ 35.7	▲ 21.2	▲ 12.2	▲ 13.4	6.5
改善予測		2.0	0.7	7.8	18.7	—	—

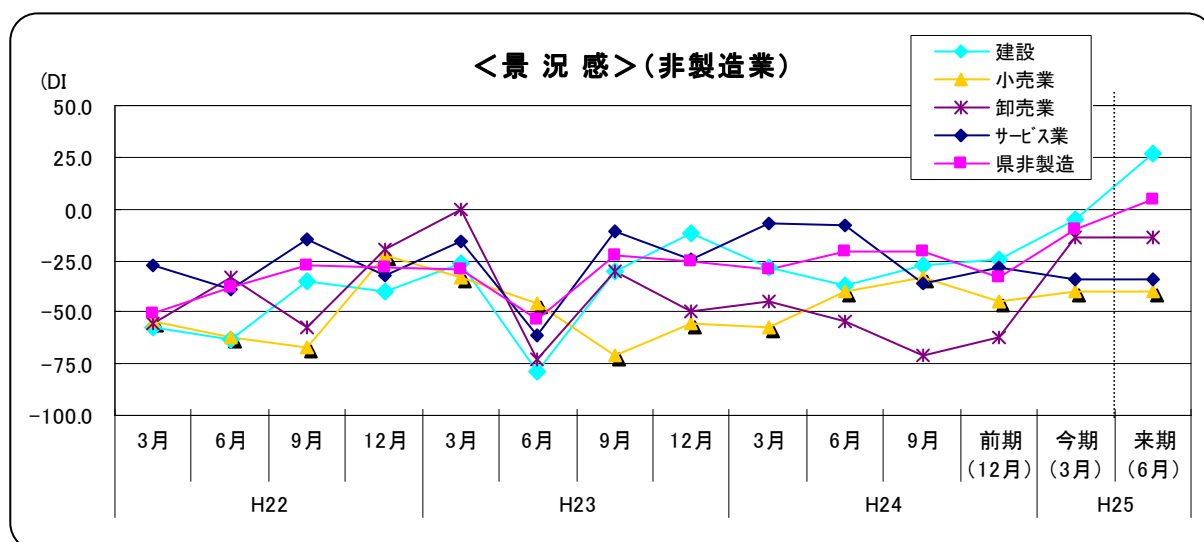
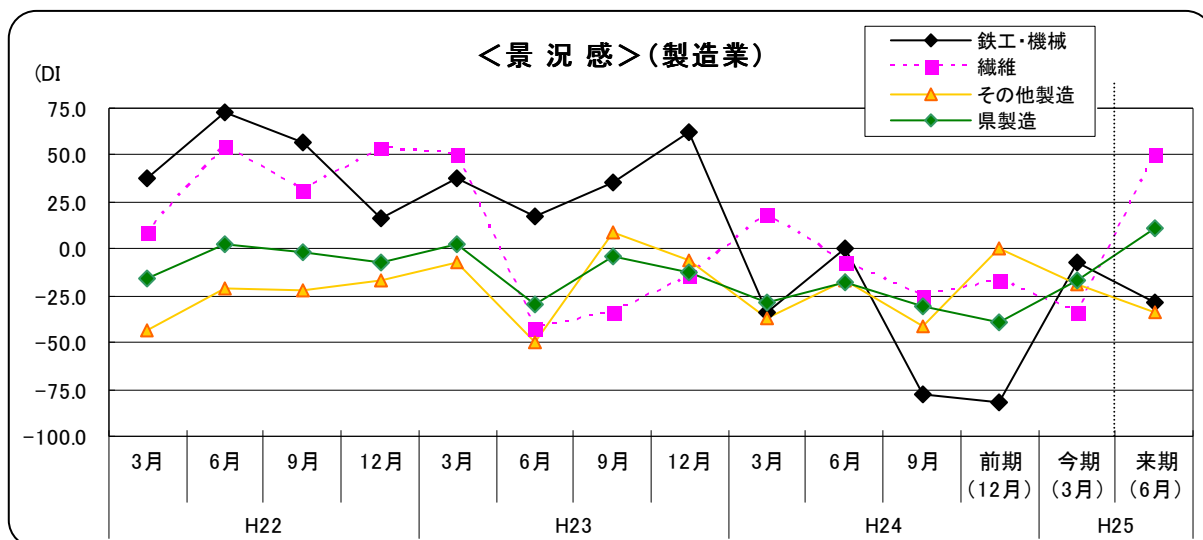
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期▲82.4ポイントだったが、今期は▲7.1ポイントと回復。来期が▲28.6ポイントと再び悪化の見通しを示している。繊維においては前期が▲16.7ポイントであったが、今期は▲33.3ポイントと更に悪化、来期が50.0ポイントと回復の見通しを示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて悪化しており来期は更に悪化の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲25.0ポイントから今期▲5.3ポイントと回復傾向にあり、来期が26.3ポイントと更に回復の予測が伺える。小売については今期4.4ポイント回復、卸売も48.2ポイント回復、サービス業は5.9ポイント悪化となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H25.3)			来期(H25.6)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 17.9	▲ 14	▲ 15	▲ 13.5	▲ 4	▲ 10	39社
非製造業	▲ 23.3	▲ 7	▲ 2	▲ 13.3	▲ 10	▲ 3	60社
全体	▲ 21.2	▲ 10	▲ 8	▲ 13.4	▲ 8	▲ 5	99社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第4四半期)の状況

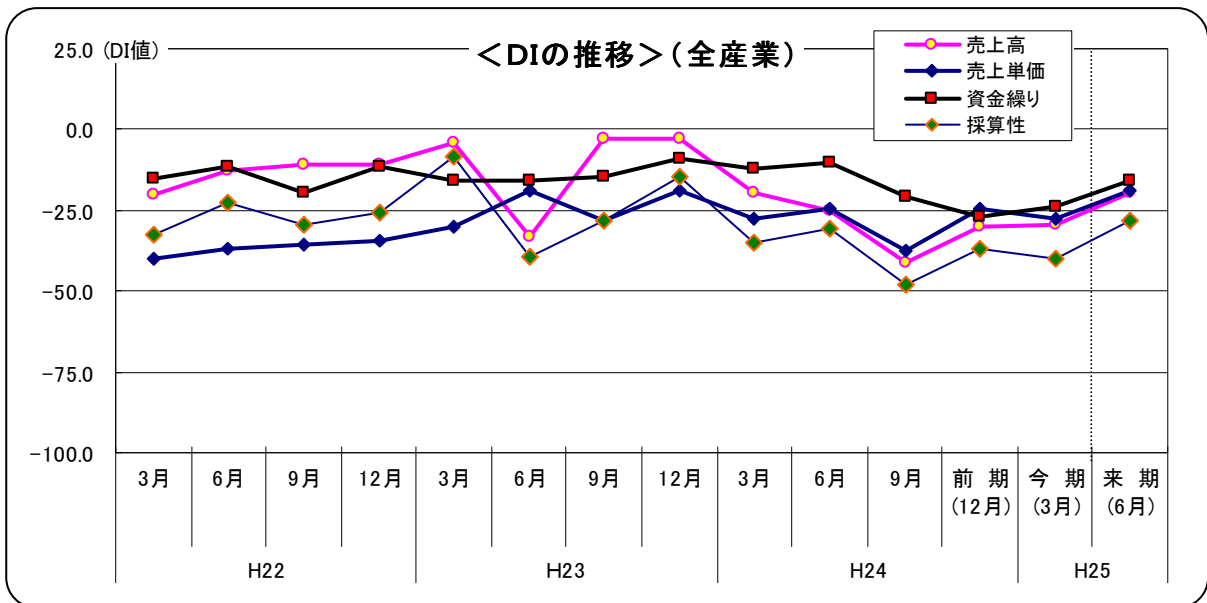
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 17.9	▲ 21.6	▲ 18.4	▲ 11.4	▲ 23.7	▲ 14.1	▲ 23.7	▲ 28.3
建設業	▲ 21.1	▲ 13.5	▲ 36.8	▲ 24.0	▲ 21.1	▲ 14.5	▲ 47.4	▲ 15.5
小売業	▲ 60.0	▲ 24.2	▲ 40.0	▲ 18.5	0.0	▲ 16.9	▲ 60.0	▲ 29.7
卸売業	0.0	▲ 21.3	0.0	1.6	▲ 42.9	▲ 13.1	▲ 28.6	▲ 16.4
サービス業	▲ 51.7	▲ 25.0	▲ 37.9	▲ 20.2	▲ 25.0	▲ 12.2	▲ 55.2	▲ 27.6
全体	▲ 29.3	▲ 21.0	▲ 27.6	▲ 15.1	▲ 23.7	▲ 14.0	▲ 39.8	▲ 24.4

来期(第1四半期)の状況

(単位:DI)

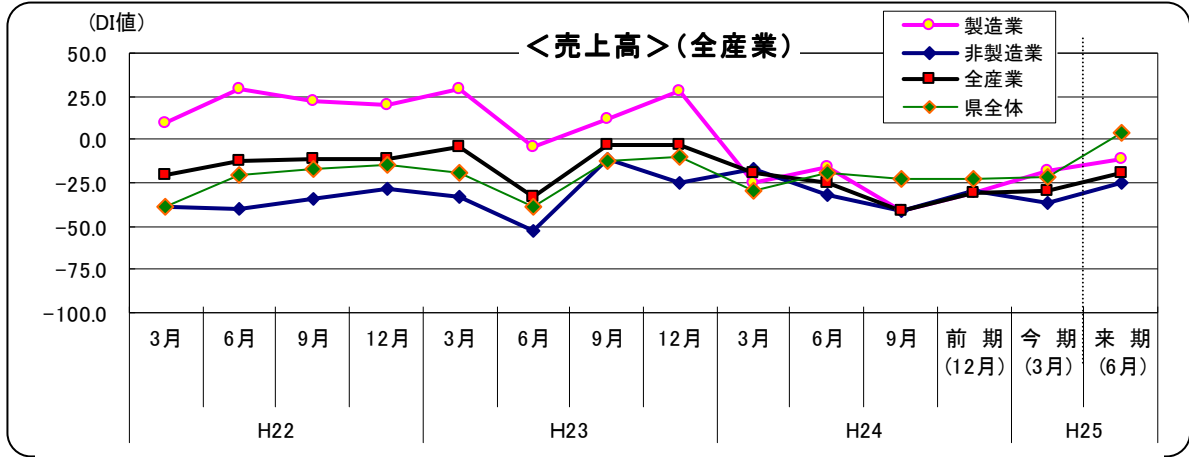
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 11.1	3.3	▲ 13.9	▲ 5.5	▲ 11.1	▲ 6.8	▲ 11.1	▲ 7.2
建設業	5.3	13.8	▲ 10.5	▲ 8.3	▲ 15.8	▲ 17.8	▲ 26.3	▲ 15.1
小売業	▲ 40.0	▲ 28.1	▲ 40.0	▲ 23.4	0.0	▲ 14.1	▲ 60.0	▲ 30.2
卸売業	0.0	19.7	14.3	13.1	▲ 14.3	▲ 1.6	▲ 14.3	4.9
サービス業	▲ 48.3	▲ 13.2	▲ 34.5	▲ 19.2	▲ 25.0	▲ 7.5	▲ 50.0	▲ 22.5
全体	▲ 19.8	▲ 0.2	▲ 18.8	▲ 9.2	▲ 15.8	▲ 9.5	▲ 28.4	▲ 13.6
改善予測(今回)	9.5	20.8	8.8	6.0	7.9	4.5	11.4	10.8
改善予測(H24.12)	▲ 6.1	▲ 12.1	▲ 5.4	0.4	2.1	▲ 2.8	1.0	▲ 5.0
改善予測(H24.9)	5.9	0.5	3.1	3.7	▲ 2.3	▲ 4.7	▲ 2.9	▲ 2.7



(2) 売上高

(単位: DI)

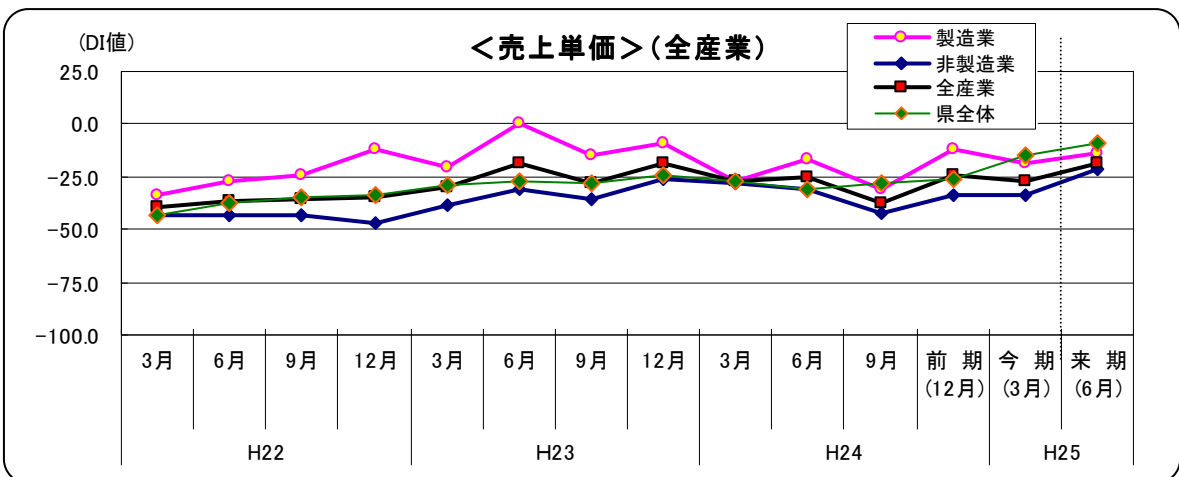
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 21.4	57.1	▲ 33.3	▲ 11.1	5.3	▲ 40.0	0.0	▲ 48.3	▲ 25.0	▲ 19.8	▲ 0.2
今期	▲ 7.1	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 17.9	▲ 21.1	▲ 60.0	0.0	▲ 51.7	▲ 36.7	▲ 29.3	▲ 21.0
前期	▲ 82.4	▲ 16.7	23.1	▲ 31.0	▲ 10.5	▲ 44.4	▲ 75.0	▲ 23.8	▲ 29.8	▲ 30.3	▲ 23.2



(3) 売上単価

(単位: DI)

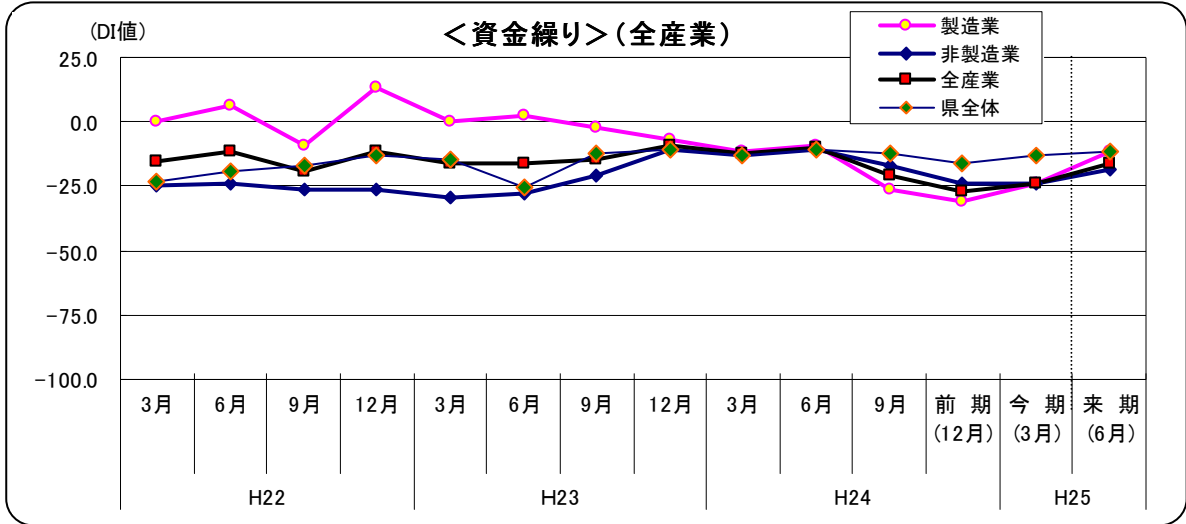
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 14.3	28.6	▲ 33.3	▲ 13.9	▲ 10.5	▲ 40.0	14.3	▲ 34.5	▲ 21.7	▲ 18.8	▲ 9.2
今期	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 18.4	▲ 36.8	▲ 40.0	0.0	▲ 37.9	▲ 33.3	▲ 27.6	▲ 15.1
前期	▲ 11.8	▲ 16.7	▲ 7.7	▲ 11.9	▲ 47.4	▲ 44.4	▲ 37.5	▲ 15.0	▲ 33.9	▲ 24.5	▲ 25.9



(4) 資金繰り

(単位:DI)

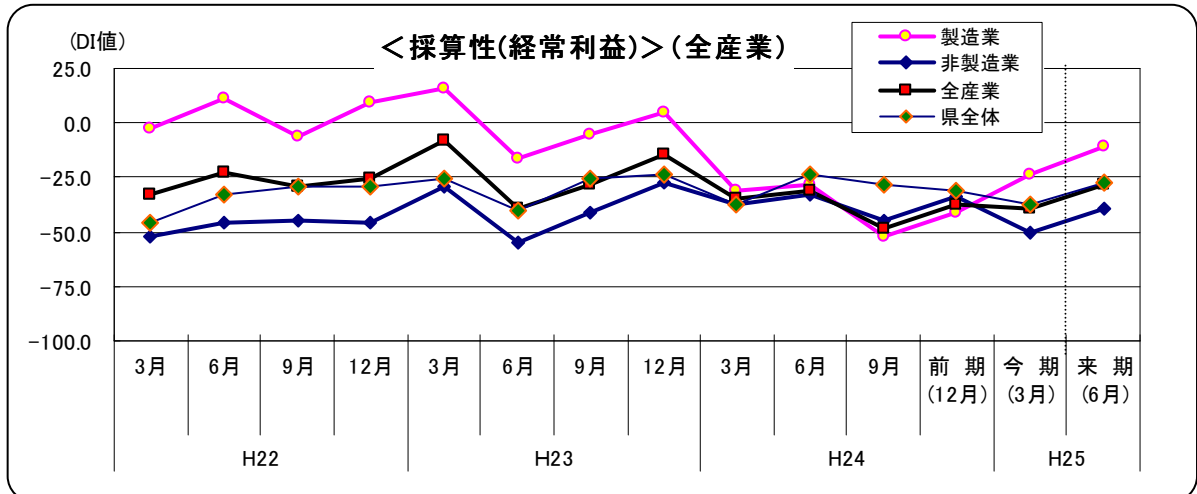
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 14.3	14.3	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 15.8	0.0	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 18.6	▲ 15.8	▲ 9.5
今期	▲ 21.4	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 23.7	▲ 21.1	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 23.7	▲ 14.0
前期	▲ 52.9	▲ 25.0	▲ 7.7	▲ 31.0	▲ 31.6	0.0	▲ 62.5	▲ 10.0	▲ 23.6	▲ 26.8	▲ 16.5



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 28.6	57.1	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 26.3	▲ 60.0	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 39.0	▲ 28.4	▲ 13.6
今期	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 47.4	▲ 60.0	▲ 28.6	▲ 55.2	▲ 50.0	▲ 39.8	▲ 24.4
前期	▲ 87.5	▲ 25.0	0.0	▲ 41.5	▲ 36.8	▲ 50.0	▲ 62.5	▲ 14.3	▲ 33.9	▲ 37.1	▲ 30.9

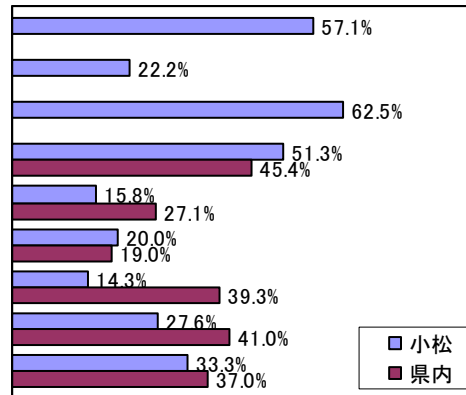


設備投資の動向

(1) 今年度後半(平成 24 年 10 月～25 年 3 月の6ヶ月)に設備投資を

	実施した		
	小松	県内	
鉄工・機械	8 社	57.1%	
繊維	2 社	22.2%	
その他製造	10 社	62.5%	
製造業	20 社	51.3%	45.4%
建設業	3 社	15.8%	27.1%
小売業	1 社	20.0%	19.0%
卸売業	1 社	14.3%	39.3%
サービス業(運輸含む)	8 社	27.6%	41.0%
全体	33 社	33.3%	37.0%

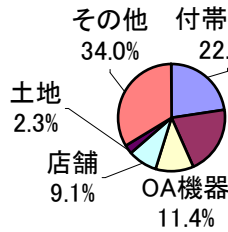
<業種ごとの実施した会社の比率>



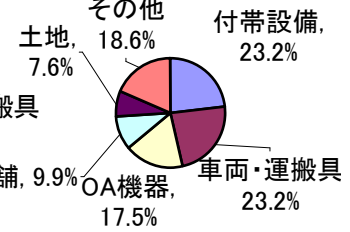
	小松	県内
付帯設備	22.7%	23.2%
車両・運搬具	20.5%	23.2%
OA 機器	11.4%	17.5%
店舗	9.1%	9.9%
土地	2.3%	7.6%
その他	34.0%	18.6%

※設備投資内容(複数回答有り)

<小松>



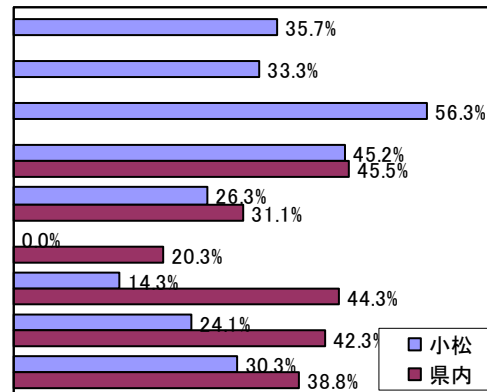
<県内>



(2) 来年度前半(平成 25 年 4 月～25 年 9 月の6ヶ月)に設備投資を

	計画している		
	小松	県内	
鉄工・機械	5 社	35.7%	
繊維	3 社	33.3%	
その他製造	9 社	56.3%	
製造業	17 社	45.2%	45.5%
建設業	5 社	26.3%	31.1%
小売業	0 社	0.0%	20.3%
卸売業	1 社	14.3%	44.3%
サービス業(運輸含む)	7 社	24.1%	42.3%
全体	30 社	30.3%	38.8%

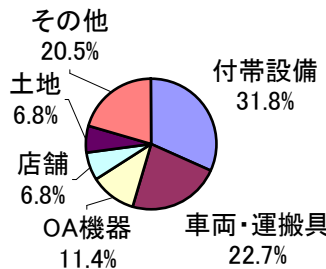
<業種ごとの実施した会社の比率>



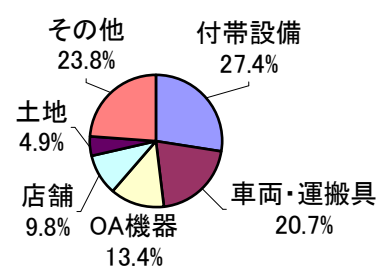
	小松	県内
付帯設備	31.8%	27.4%
車両・運搬具	22.7%	20.7%
OA 機器	11.4%	13.4%
店舗	6.8%	9.8%
土地	6.8%	4.9%
その他	20.5%	23.8%

※設備投資内容(複数回答有り)

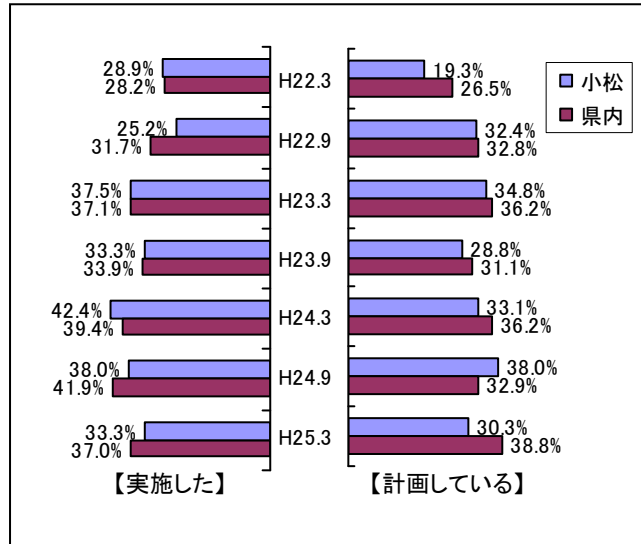
<小松>



<県内>



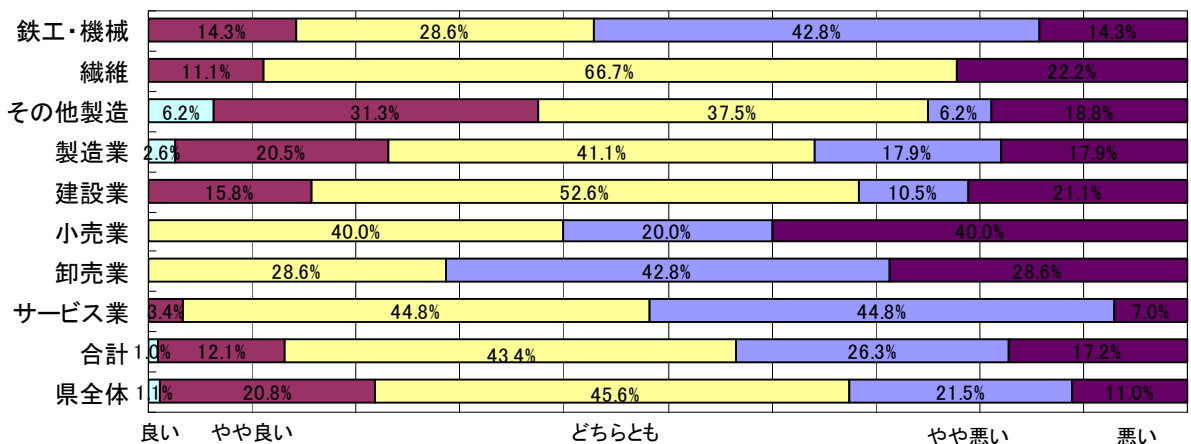
		小松	県内
実施した	H22.3	28.9%	28.2%
	H22.9	25.2%	31.7%
	H23.3	37.5%	37.1%
	H23.9	33.3%	33.9%
	H24.3	42.4%	39.4%
	H24.9	38.0%	41.9%
計画している	H25.3	33.3%	37.0%
	H22.3	19.3%	26.5%
	H22.9	32.4%	32.8%
	H23.3	34.8%	36.2%
	H23.9	28.8%	31.1%
	H24.3	33.1%	36.2%
H24.9	38.0%	32.9%	
H25.3	30.3%	38.8%	



景気の現状

3月現在の景気状況は、どのあたりだと思いますか？

	良い		やや良い		どちらとも いえない		やや悪い		悪い	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		14.3%		28.6%		42.8%		14.3%	
繊維	0.0%		11.1%		66.7%		0.0%		22.2%	
その他製造	6.2%		31.3%		37.5%		6.2%		18.8%	
製造業	2.6%	0.5%	20.5%	20.9%	41.1%	42.8%	17.9%	23.5%	17.9%	12.3%
建設業	0.0%	0.9%	15.8%	30.0%	52.6%	45.5%	10.5%	13.6%	21.1%	10.0%
小売業	0.0%	1.6%	0.0%	20.6%	40.0%	38.1%	20.0%	17.5%	40.0%	22.2%
卸売業	0.0%	1.6%	0.0%	9.8%	28.6%	54.1%	42.8%	23.0%	28.6%	11.5%
サービス業(運輸含む)	0.0%	1.6%	3.4%	17.9%	44.8%	49.6%	44.8%	26.8%	7.0%	4.1%
全体	1.0%	1.1%	12.1%	20.8%	43.4%	45.6%	26.3%	21.5%	17.2%	11.0%



今期(第4四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	小松		県内		
需要の停滞、売上の減少	49社	25.0%	23.3%		25.0%
仕入単価の上昇	30社	15.3%	17.1%		15.3%
販売単価の低下・上昇難	27社	13.8%	15.5%		13.8%
経費の増加	27社	13.8%	14.1%		13.8%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	24社	12.2%	9.6%		12.2%
従業員の確保難	15社	7.7%	7.0%		7.7%
後継者の育成・確保	11社	5.6%	6.8%		5.6%
事業資金の借入難	5社	2.6%	2.5%		2.6%
金利負担の増加	3社	1.5%	2.1%		1.5%
その他	5社	2.6%	1.9%		2.6%

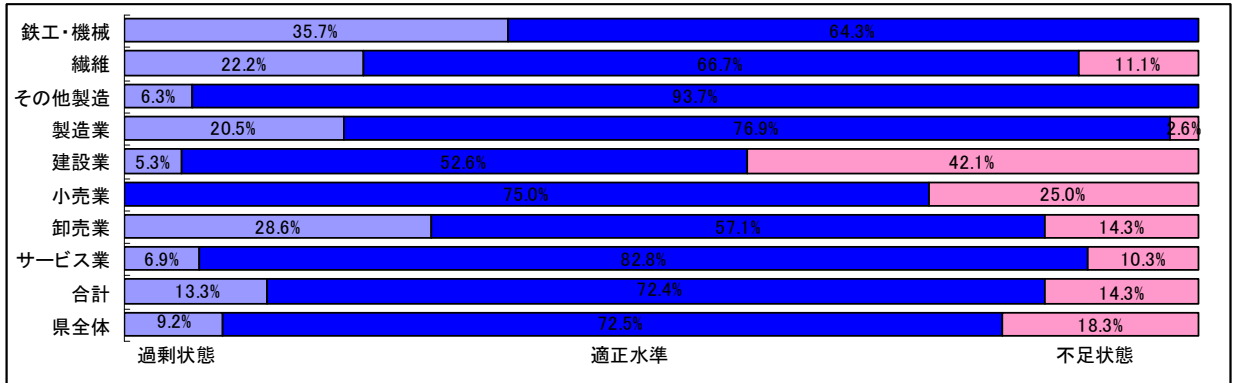
<その他>

客単価の減少(サービス)
ネット販売、リサイクル(卸売)
先がみえない(製造)
廃業等による顧客数の減少(サービス)
人材育成(製造)

企業における諸問題の影響や対策等について

1. 現在の雇用状況について、どの程度の状態と思われますか？

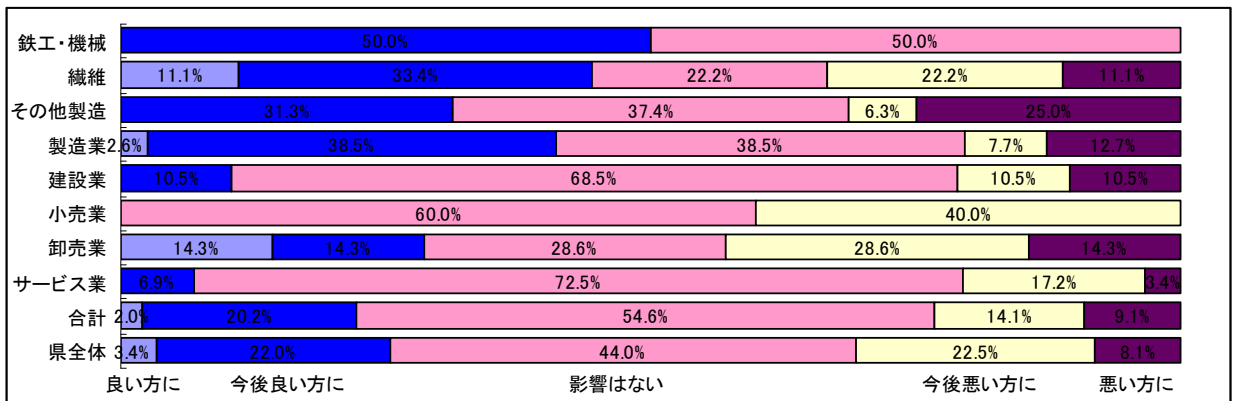
	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	35.7%		64.3%		0.0%	
繊維	22.2%		66.7%		11.1%	
その他製造	6.3%		93.7%		0.0%	
製造業	20.5%	15.1%	76.9%	73.6%	2.6%	11.3%
建設業	5.3%	6.5%	52.6%	65.5%	42.1%	28.0%
小売業	0.0%	3.3%	75.0%	78.7%	25.0%	18.0%
卸売業	28.6%	6.6%	57.1%	80.3%	14.3%	13.1%
サービス業(運輸含む)	6.9%	6.7%	82.8%	70.0%	10.3%	23.3%
全体	13.3%	9.2%	72.4%	72.5%	14.3%	18.3%



2. 円安が進行しています。その影響は？

(複数回答あり)

	良い方を受けている		今後良い方を受ける		影響はない		今後悪い方を受ける		悪い方を受けている	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		50.0%		50.0%		0.0%		0.0%	
繊維	11.1%		33.4%		22.2%		22.2%		11.1%	
その他製造	0.0%		31.3%		37.4%		6.3%		25.0%	
製造業	2.6%	2.6%	38.5%	31.7%	38.5%	38.2%	7.7%	20.1%	12.7%	7.4%
建設業	0.0%	0.0%	10.5%	15.0%	68.5%	55.1%	10.5%	23.4%	10.5%	6.5%
小売業	0.0%	4.6%	0.0%	6.2%	60.0%	52.2%	40.0%	26.2%	0.0%	10.8%
卸売業	14.3%	10.0%	14.3%	30.0%	28.6%	26.7%	28.6%	25.0%	14.3%	8.3%
サービス業(運輸含む)	0.0%	3.6%	6.9%	17.1%	72.5%	47.8%	17.2%	22.5%	3.4%	9.0%
全体	2.0%	3.4%	20.2%	22.0%	54.6%	44.0%	14.1%	22.5%	9.1%	8.1%



①良い方を受けている

当社の扱っている鉄スクラップは資源であり、円安はスクラップ相場の上昇となっている(卸売)
円安でEU 向け採算合う(製造)

②今後、良い方を受ける

外国客の増加見込む(サービス)
輸出向け生産量の増加(製造)
株価の上昇(製造)
米国ヨーロッパへの繊維輸出がし易くなり、稼働率がよくなりそう(製造)
国内各企業の設備投資の増加(製造)
輸出ドライブがきてくる(製造)

ものづくりの町小松では製造業が多いため、円安進行し輸出増加することにより売上増加が見込まれる一方で、円安によるコスト高のマイナス面もあり、そのマイナス分の吸収が可能となれば総じて円安の進行は良い方向と思われる。(サービス)
売上単価も上昇する(建設)

③影響はない

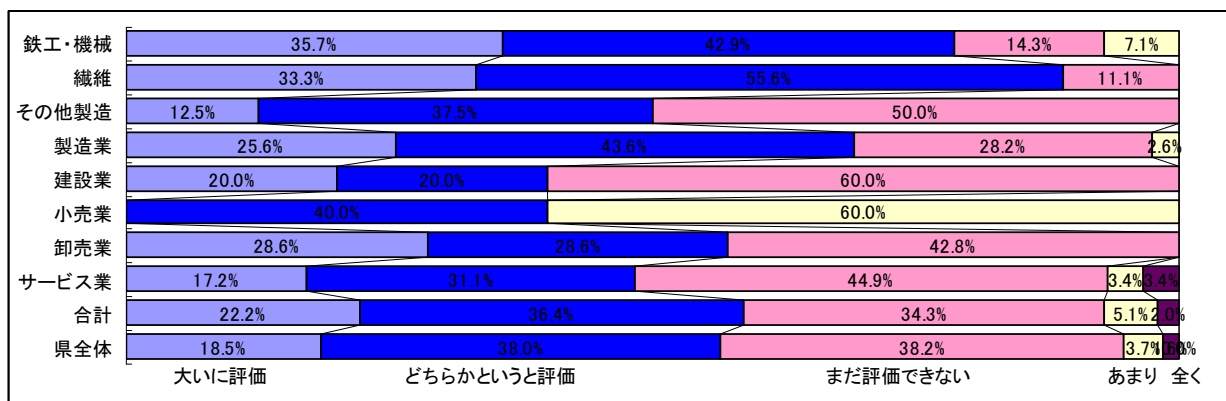
輸入している物が少ないので今は影響ないが、将来はわからない(製造)
円安により部品調達がやりにくくなり、弊社に仕事が増える反面、ガソリンや電気代が上昇し経費が増える(製造)
我々の業界では関係ない(サービス)
販売には影響ないが、エネルギー費が増加し経費が上昇する(製造)

④今後、悪い方に受ける

アスファルトを利用しているため、材料の高騰(建設)
仕入商品の単価上昇、4月以降10~20%上がる予想(卸売)
当社は原料がLNGであるため輸入価格が高くなるため(サービス)
エネルギー費他物価上昇によるコストUP(製造)
原油価格の高騰(サービス)
値上がりによる販売不振(小売)
ガソリン価格の上昇により車の来客数減少(サービス)

3. 政府は「アベノミクス」と呼ばれる経済政策を進めています。
この経済政策をどのように評価していますか？

	大いに評価する		どちらかという評価する		まだ評価できない		あまり評価しない		まったく評価しない	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	35.7%		42.9%		14.3%		7.1%		0.0%	
繊維	33.3%		55.6%		11.1%		0.0%		0.0%	
その他製造	12.5%		37.5%		50.0%		0.0%		0.0%	
製造業	25.6%	18.2%	43.6%	43.3%	28.2%	35.3%	2.6%	3.2%	0.0%	0.0%
建設業	20.0%	25.2%	20.0%	33.0%	60.0%	34.0%	0.0%	2.6%	0.0%	5.2%
小売業	0.0%	9.2%	40.0%	40.0%	0.0%	38.5%	60.0%	10.8%	0.0%	1.5%
卸売業	28.6%	23.0%	28.6%	37.7%	42.8%	39.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業(運輸含む)	17.2%	15.1%	31.1%	33.6%	44.9%	46.2%	3.4%	3.4%	3.4%	1.7%
全体	22.2%	18.5%	36.4%	38.0%	34.3%	38.2%	5.1%	3.7%	2.0%	1.6%



①大いに評価する

先行きに希望が待っている
景気の好転が期待できる
85～100 円の方角。TPPは参加すべき
公共事業を増やし、内需拡大を図ろうとしているから
景気上昇による設備投資が見込まれる
デフレ脱却による経済の価値感による購買力
デフレからの脱却ができそうだから
公共事業増
非常に困難な政策だが、強い決意とスピード感を感じる
果敢に政策を進めている
デフレは国を滅ぼす
仕事量が増える

②どちらかという人评价する

公共工事の増加
当面のアナウンス効果で円安株高に動いたから
国内製造業にとってはプラス(輸出関連) デフレ対策
インフラ関係投資や住宅市況改善
安倍政権の政策に景気の回復と株価の上昇に期待できる
公共投資に期待する。だが急激より持続的にしてほしい
デフレからの脱却ができそうだから
ムードの明るくなったことは評価できるが、具体的に実感できることが大事
景気回復

③まだ評価できない

九谷焼は一番最後に経済効果が出てくるので、今は評価できない
大企業とその関連は好転するが、国内向け産業、小売、卸売にとっては、どちらとも判断できない
浮かれている状態で、今後の動向如何
原料が値上げされるが、売価(製品)は現状維持
24年度末は、予算決算の関係で仕事を確保できているが、25年度上期は具体的な仕事量が各得意先共に不透明である
政治(家)不信
予算実行がこれからである
アベノミクスは未だ効果がどの程度か、又その持続性を見極めないと。
具体策及びその効果にもう少し時間を要する
デフレが減少した感がないし、中小企業、特にサービス業までくるのには、まだ先ではアベノミクスは経済成長重視の政策であり、現在の日本経済の慢性的な不況要因であるデフレからの脱却を目指しているが、インフレに対して給与引き上げの可能性については疑問が残る

④あまり評価しない

増税後がこわい
インフレが進むことにより可処分所得が先に減少する。それに対して企業は給与水準

を上げることができないから、消費動向に一層かげりが出る
労働者のベースアップに繋がないと、消費の増加に繋がらない

■ その他、ご意見などについてお聞かせ下さい。

今後の具体的な施策による動きが心配でもある。TPP、日中他外交問題
国、県、市全てにおいて、公共事業を多く発注してほしい
小松大和の跡地は、どの様なビジョンがあるのか？(行政含む)
親会社が受注できない状況
成長戦略に期待(3本の矢) 規制緩和など
円安の進行や、アベノミクスによるインフレ進行により大企業は恩恵を早期に受けるが、中小企業が恩恵を受けるまでは期間を要することが予想されるため、それまでの支援対策をよりきめ細かく検討する必要があると思う

コメント

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を実施してまいります。(小松大和跡地の問題含む)

また、小松管内で安定した経済活動が行えるよう、日本商工会議所や国・県・小松市を含む関係機関との連携を強化しつつ、適宜適切な要望活動を行ってまいります。

—小松商工会議所—